

IBM Planning Analytics

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

IBM Planning Analytics は、コラボレーティブでエンタープライズ・スケーラブルな予算編成、計画、分析、収益性、モデリング、スコアカードおよびレポート作成を提供するソリューションです。これらのアプリケーションは、TM1 64 ビットのメモリー内の「オンライン分析処理 (以下「OLAP」といいます。)」サーバーによってサポートされています。これにより、リアルタイム分析による複雑な多次元データのオンデマンド分析が可能になります。

本オファリングには以下のものが含まれます。

- 予算編成、計画、分析、収益性、モデリング、レポート作成、評価指標、およびスコアカードの各ソリューションを、管理者がモデル化し、配置できるようにする管理クライアント。
- エンド・ユーザーが計画の作成、確認および承認、レポート、重要業績評価指標および測定基準のアクセス、ならびにアドホック分析を実行するための、さらに、管理者がモニター活動を行うための、Web インターフェース。
- エンド・ユーザーが Microsoft Excel 内で探索、ディスカバリー、レポート作成および分析を実行するための Excel プラグイン。

IBM がお客様の「クラウド・サービス」のプロビジョンを行うデータセンターにおける壊滅的な事象または IBM の制御不能な原因により「クラウド・サービス」が利用できない場合、IBM は、14 暦日以内に別の IBM データセンター経由でお客様に「クラウド・サービス」を提供できるよう取り組みます。壊滅的なもの、または IBM の制御不能なものともみなされない障害については「サービス・レベル・アグリーメント」を参照してください。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Planning Analytics

「IBM Planning Analytics クラウド・サービス」には以下が含まれます。

- a. 1 つの IBM Planning Analytics の実稼働「インスタンス」。これには、以下が含まれます。
 - TM1 データベース層用の最大 64GB のメモリー (RAM)
 - TM1 データベース層用の 200GB の共有フォルダー・スペース
- b. 1 つの IBM Planning Analytics の「非実稼働インスタンス」。これには、以下が含まれます。
 - TM1 データベース層用の最大 64GB のメモリー (RAM)
 - TM1 データベース層用の 200GB の共有フォルダー・スペース

1.1.2 IBM Planning Analytics Digital Pack

IBM Planning Analytics Digital Pack では、「IBM Planning Analytics クラウド・サービス」の中核コンポーネントを含む、縮小されたエントリー・ポイントが提供されます。

本「クラウド・サービス」には以下が含まれます。

- a. 1 つの IBM Planning Analytics Digital Pack の実稼働「インスタンス」。これには、以下が含まれます。
 - TM1 データベース層用の最大 32GB のメモリー (RAM)
 - 最大 4 つのコア・プロセッサ
 - TM1 データベース層用の 200GB の共有フォルダー・スペース

- b. 5人のIBM Planning Analytics Digital User
- c. その5人のIBM Planning Analytics Digital Userのうち3人が「リモート・デスクトップ・プロトコル」機能(「クラウド・サービス」が展開されているもの)へのアクセスを許可されます。「リモート・デスクトップ・プロトコル」機能には、以下が含まれます。
 - TM1 データベース・オブジェクトの作成、変更、および削除、またはそのいずれか
 - セキュリティー(ユーザー/グループ/特権)の管理
 - 処理の実行と作業のスケジュール設定
 - サーバー・パフォーマンス情報(評価指標キューブやサーバー・ログ)へのアクセス
 - ワークフローの作成と管理
 - 最大50人の「IBM Planning Analytics Digital User」(「クラウド・サービス」が提供されている5人の「IBM Planning Analytics Digital User」を含みます。)

1.1.3 IBM Planning Analytics Hybrid Entitlement

IBM Planning Analytics Hybrid Entitlementには、IBM Planning Analytics クラウド・サービスおよびIBM Planning Analytics Advancedの両方へのアクセスが含まれます。この使用許諾に含まれる「IBM プログラム」は、IBM Planning Analytics Advancedです。

IBM Planning Analytics Hybrid Entitlementの各「許可ユーザー」はIBM Planning Analytics Modelerの「許可ユーザー」またはIBM Planning Analytics Advancedの「許可ユーザー」のいずれかとすることができますが、使用できるのはそのうち1つに限定されます。

IBM Planning Analytics Hybrid Entitlementの「許可ユーザー」のうち10人が「リモート・デスクトップ・プロトコル」機能(「クラウド・サービス」が展開されているもの)へのアクセスを許可されます。「リモート・デスクトップ・プロトコル」機能により、以下のことが可能になります。

- TM1 データベース・オブジェクトの作成、変更、および削除、またはそのいずれか
- セキュリティー(ユーザー/グループ/特権)の管理
- 処理の実行と作業のスケジュール設定
- サーバー・パフォーマンス情報(評価指標キューブやサーバー・ログ)へのアクセス
- ワークフローの作成と管理

1.1.4 IBM Planning Analytics On Demand

IBM Planning Analytics On Demandは、「IBM Planning Analytics クラウド・サービス」のPlanning Analytics Workspace コンポーネントを使用してオンデマンドのエントリー・ポイントを提供し、ユーザーが必要に応じて追加のデータベース・コンテナのサブスクリプションおよびプロビジョニングをセルフサービスとして実行できるようにします。

本「クラウド・サービス」には、IBM Planning Analytics クラウド・テナントの実稼働「インスタンス」が1つと、TM1 データベース・コンテナ用の最大2ギガバイト(2GB)のメモリー(RAM)が含まれます。

1.1.5 ユーザーの役割

IBM Planning Analytics Modeler

IBM Planning Analytics Modelerは、TM1 データベース・オブジェクトの作成、変更、および削除、またはそのいずれかを行えるほか、セキュリティの管理(ユーザー/グループ/特権)、プロセスの実行と日課のスケジュール、サーバー・パフォーマンス情報(評価指標キューブやサーバー・ログ)へのアクセス、ワークフローの作成と管理、「クラウド・サービス」が展開されているIBM TM1 サーバーからのデータの読み込み、および同サーバーへのデータの書き込みが可能です。

IBM Planning Analytics User

IBM Planning Analytics Userは、「クラウド・サービス」が展開されているIBM TM1 サーバーからのデータの読み込み、および同サーバーへのデータの書き込みが認められていますが、「クラウド・サービス」の以下のコンポーネントおよび機能のいずれも使用することを認められていません。

- IBM Cognos Performance Modeler
- IBM Cognos TM1 Architect
- IBM Cognos TM1 Perspectives
- IBM Cognos TM1 Turbo Integrator (プロセス作成用)
- IBM Cognos TM1 Operations Console
- 管理機能に関する IBM Cognos TM1 Applications
- 管理機能に関する IBM Cognos TM1 Applications Workflow (ワークフローのレビューおよび承認を除く)
- リモート・デスクトップ・プロトコルにより提供される機能

IBM Planning Analytics Explorer

IBM Planning Analytics Explorer は、「クラウド・サービス」が展開されている IBM TM1 サーバーからのデータの読み込みが認められていますが、「クラウド・サービス」の以下のコンポーネントおよび機能のいずれも使用することを認められていません。

- ライトバック用の Planning Analytics Workspace
- IBM Cognos Performance Modeler
- IBM Cognos TM1 Architect
- IBM Cognos TM1 Perspectives
- IBM Cognos TM1 Turbo Integrator (プロセス作成用)
- IBM Cognos TM1 Operations Console
- ライトバック用の IBM Cognos TM1 Web
- 管理機能またはライトバック用の IBM Cognos TM1 Applications
- 管理機能に関する IBM Cognos TM1 Applications Workflow (ワークフローのレビューおよび承認を除く)
- リモート・デスクトップ・プロトコルにより提供される機能

IBM Planning Analytics Digital User

IBM Planning Analytics Digital User には、以下が許可されています。

- 「クラウド・サービス」が展開されている IBM Cognos TM1 サーバーからのデータの読み込み、および同サーバーへのデータの書き込み
- Planning Analytics Workspace の全機能へのアクセス

IBM Planning Analytics Digital User は、IBM Planning Analytics Digital Pack に対してのみ利用可能です。

IBM Planning Analytics On Demand User

IBM Planning Analytics On Demand User では、以下の機能へのアクセスを提供します。

- 「クラウド・サービス」が展開されている IBM Cognos TM1 サーバーからのデータの読み込み、および同サーバーへのデータの書き込み
- Planning Analytics Workspace の以下の機能:
 - TM1 データベース・オブジェクトの作成、変更、および削除、またはそのいずれか
 - サブスクリプション設定の管理
 - オンデマンド・テナントを対象とするデータベースおよびユーザー管理の実行
 - TM1 セキュリティー (ユーザー/グループ/特権) の管理
 - 処理の実行
 - 「クラウド・サービス」が展開されている IBM TM1 サーバーからのデータの読み込み、および同サーバーへのデータの書き込み

- 計画、予算、および予測への貢献
- 計画用および分析用のダッシュボードの組み立て
- リアルタイムの「what-if」分析によるシナリオの検討。

IBM Planning Analytics On Demand User は、IBM Planning Analytics On Demand に対してのみ利用可能です。

1.2 オプション・サービス

以下の「オプション・サービス」は、IBM Planning Analytics Digital Pack および IBM Planning Analytics On Demand のテナントには適用されません。

1.2.1 IBM Planning Analytics Additional Memory – 128GB Maximum

本オフファリングにより、IBM Planning Analytics Instance (64GB) の容量を TM1 データベース層用の最大 128GB のメモリー (RAM) まで増やすことができます。

1.2.2 IBM Planning Analytics Premium Instance

本オフファリングにより、IBM Planning Analytics Instance (64GB) の容量を、TM1 データベース層用に最大 512GB のメモリー (RAM)、1TB の共有フォルダー・ディスク・スペースまで増やすことができ、この TM1 データベース層は、管理対象ハイパーバイザーまたは専用の物理サーバーのいずれかを備えたシングル・テナント環境でホストされます。

1.2.3 IBM Planning Analytics Premium Instance Additional Memory – 1TB Maximum

本オフファリングにより、TM1 データベース層用のメモリー (RAM) の IBM Planning Analytics Premium Instance (512GB) の容量を TM1 データベース層用に最大合計 1TB のメモリー (RAM) まで増やすことができます。

1.2.4 IBM Planning Analytics Premium Instance Additional Memory – 2TB Maximum

本オフファリングにより、TM1 データベース層用のメモリー (RAM) の IBM Planning Analytics Premium Instance (1TB) の容量を TM1 データベース層用に最大合計 2TB のメモリー (RAM) まで増やすことができます。本オフファリングには、「IBM Planning Analytics Premium Instance Additional Memory – 1TB Maximum Service」の「サービス」に対する既存のサブスクリプションが必要です。

1.2.5 IBM Planning Analytics Additional Production Instance

本オフファリングにより、TM1 データベース層用の最大 64GB のメモリー (RAM) および 200GB の共有フォルダー・ディスク・スペースを備えた IBM Planning Analytics の「実稼働インスタンス」を追加することができます。

1.2.6 IBM Planning Analytics Additional Non-Production Instance

本オフファリングにより、TM1 データベース層用の最大 64GB のメモリー (RAM) および 200GB の共有フォルダー・ディスク・スペースを備えた IBM Planning Analytics の非実稼働インスタンスを追加することができます。

1.2.7 IBM Planning Analytics Additional Planning Storage

本オフファリングにより、お客様は、「クラウド・サービス」の実稼働または非実稼働のいずれかのインスタンスに、TM1 データベース層にある追加の 250 GB の共有フォルダー・ディスク・スペースを指定することができます。

1.2.8 IBM Planning Analytics Premium Reporting Production Instance

本オフファリングにより、許可ユーザーは、Web ブラウザーを介した、ダッシュボードや対話式レポート、カスタム分析、アドホック・クエリーの開発、レポートの新規作成、定期レポートの表示、およびアクティブ・レポートの取り込みを実行できる、IBM Cognos Analytics の特定機能にアクセスすることができます。この IBM Cognos Analytics の機能は OLAP を対話的に活用し、お客様が、リスト、クロス・タブ、チャート、および財務諸表スタイルのレポートといった幅広いレポート・タイプを作成してフォーマットすることができるようにします。IBM Cognos Analytics の各種機能は、Apple iPhone、Android およびタブレットを含む幅広いモバイル・デバイスを使ったレポートの取り込みまで及びま

す。このアドオン・オプションは、Cognos Analytics の各種機能により、ユーザーが生成したコンテンツに対して最大 250 GB のストレージを可能にします。お客様が Cognos Analytics を使用する場合、IBM Planning Analytics クラウド・サービスのサポートが必須であり、単独で使用することはできません。

1.2.9 IBM Planning Analytics Premium Reporting Non-Production Instance

本オファリングにより、許可ユーザーは、IBM Planning Analytics Premium Reporting Production Instance の機能にアクセスすることができますが、「非実稼働」の用途に限定されます。非実稼働の限定にかかわらず、お客様は、このオプションのアドオンをパフォーマンス調整に使用することは認められていません。

1.2.10 IBM Planning Analytics Additional Reporting Storage

本オファリングにより、お客様は、Cognos Analytics の各種機能によりユーザーが作成したコンテンツに対して、IBM Planning Analytics Premium Reporting Production または IBM Planning Analytics Premium Reporting Non-Production のいずれかのインスタンスに、追加の 250 GB のストレージを指定できます。

1.2.11 IBM Planning Analytics Disaster Recovery Premium

このオプションのアドオンにより、IBM がお客様への「クラウド・サービス」を提供するデータセンターにおいて壊滅的な事象または IBM の制御不能な原因により「クラウド・サービス」が利用できなくなった場合、IBM は、3 暦日以内に別の IBM データセンター経由でお客様に「クラウド・サービス」を提供する作業に取り組みます。壊滅的なもの、または IBM の制御不能なものとはみなされない障害については「サービス・レベル・アグリーメント」を参照してください。

1.2.12 IBM Planning Analytics On Demand – Additional 2GB TM1 Database Container

本オファリングは、最大 2 ギガバイト (2GB) のメモリー (RAM) の容量を備えた追加の IBM Cognos TM1 データベース・コンテナをプロビジョンします。

これは、IBM Planning Analytics On Demand のインスタンスでのみ利用可能です。

1.3 アクセラレーション・サービス

これらの「サービス」には、IBM Planning Analytics および IBM Planning Analytics Digital Pack 用にリモートから提供されるサービスが含まれます。

1.3.1 IBM Planning Analytics Jump Start

IBM Planning Analytics Jump Start サービスにより、最大 5 名のユーザーを対象として、リモートで提供される最大 80 時間のガイダンス、コーチングおよび支援が提供されます。これには以下のものが含まれますが、これらに限定されません。

- 相互に合意されたユース・ケースに関連するお客様の事業課題を特定する支援
- クラウド環境において、ソース・データの構成およびソース・ゲートウェイのセットアップを支援
- Planning Analytics で実績のあるレポートおよびダッシュボードの実践についてのアドバイスおよびガイダンス
- Planning Analytics 管理についてのアドバイスおよびガイダンス

IBM Planning Analytics Jump Start サービスは「エンゲージメント」ごとに購入されるものとし、全時間数を使用したか否かにかかわらず、90 日で満了となります。

1.3.2 IBM Planning Analytics Jump Start Plus

IBM Planning Analytics Jump Start Plus により、最大 5 名のユーザーを対象として、最大 88 時間のサービスが提供されます。これには以下のものが含まれますが、これらに限定されません。

- a. 以下のセルフペースの仮想クラスルーム (SPVC) およびワークショップへのアクセス
 - IBM Planning Analytics Workspace – Guided Learning Workshop
 - IBM Cognos TM1 – Analyze and Share Data (SPVC コード J1257G)
 - IBM Cognos TM1 – Design and Develop Models in Performance Modeler (SPVC コード J1252G) または IBM Cognos TM1 – Design and Develop Models in Architect (SPVC コード J1261G)

- IBM 標準コース・マニュアルへのアクセス。これは受講者にオンラインで提供されます。
 - 30 日の期間内に 1 日 24 時間 週 7 日アクセスできる、SPVC Web ベース研修ラボへのアクセス
 - 上記の 30 日の期間は、登録電子メール内で提供されるアクセス・コードが適用された時点で開始します。
- b. SPVC と並行してリモートで提供され、オンラインでインストラクターが指導する 32 時間の研修。
- c. リモート側で実施される、56 時間のガイダンス、コーチングおよび支援。これには以下のものが含まれます。
- 双方で合意したユース・ケースに関連したお客様の事業課題の特定
 - クラウド環境において、ソース・データの構成およびソース・ゲートウェイのセットアップを支援
 - Planning Analytics で実績のあるレポートおよびダッシュボードの実践についてのアドバイスおよびガイダンス
 - Planning Analytics 管理についてのアドバイスおよびガイダンス

IBM Planning Analytics Jump Start Plus サービスは「エンゲージメント」ごとに購入されるものとし、全時間数を使用したか否かにかかわらず、90 日で満了となります。

1.3.3 IBM Planning Analytics Digital Jump Start

IBM Planning Analytics Digital Jump Start では、以下の枠組み内で、以下のリモート・コンサルティング支援と学習が提供されます。

- 25 時間ブロックのリモートで提供される専門知識
- プロジェクト・キックオフ会議を開催して、購入済みのサービスの利用方法を確認して計画します。
- 5 つのアクセス・コードが、IBM が主催するセルフペース研修 (Web 型研修またはガイド型 e-learning) に提供されます。研修は、30 日の期間内に 1 日 24 時間 週 7 日アクセスできます。上記の 30 日の期間は、登録電子メール内で提供されるアクセス・コードが適用された時点で開始します。

IBM Planning Analytics Digital Jump Start サービスは「エンゲージメント」ごとに購入されるものとし、全時間数を使用したか否かにかかわらず、90 日で満了となります。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション (処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://www.ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1413345793248>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サー

ビスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「個別契約書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) 「クラウド・サービス」へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。
- 「エンゲージメント」とは、「クラウド・サービス」に関するプロフェッショナル・サービスまたはトレーニング・サービスです。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「ギガバイト」(「GB」)とは、「クラウド・サービス」によって処理されるか、「クラウド・サービス」において使用、保管、または構成される 2 の 30 乗バイトのデータとして定義されません。

4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日より前に締結されるクラウド・サービス契約書 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 イネーブリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」には以下の「イネーブリング・ソフトウェア」が含まれます。

- IBM Planning Analytics for Microsoft Excel
- IBM Cognos Integration Server
- IBM Cognos Command Center

IBM Planning Analytics Digital Pack の「クラウド・サービス」には以下の「イネーブリング・ソフトウェア」が含まれます。

- IBM Planning Analytics for Microsoft Excel

「イネープリング・ソフトウェア」は、IBM Planning Analytics Digital Tier の「クラウド・サービス」には適用されません。

5.2 セットアップ料金

1 回限りのセットアップ料金は、発注された各セットアップ・サービスに対して「個別契約書」に記載された料金で請求されます。

5.3 最低限必要な使用許諾要件

「IBM Planning Analytics クラウド・サービス」オフアリング (IBM Planning Analytics Hybrid Entitlement を除きます) に関して、お客様は、最低 1 つの IBM Planning Analytics Modeler が必要です。また、IBM Planning Analytics Modeler または IBM Planning Analytics ユーザーのいずれかを合わせて最低 21 の「許可ユーザー」の使用許諾を保有する必要があります。

5.4 非実稼働 (Non-Production) に関する制限

「クラウド・サービス」が「非実稼働用」に指定されている場合、「クラウド・サービス」は、お客様の非実稼働活動の一環 (テスト、性能調整、故障診断、ベンチマーキング、ステージング、品質保証活動または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の「クラウド・サービス」に対する追加または拡張の開発を含みますが、これらに限られません。) としてのみ、使用することができます。

5.5 バックアップ

共有フォルダー・スペースおよびアプリケーション・データベースのバックアップは、日次で実行されます。データベースのバックアップは現地で行われ、別のデータセンターにある他のデータベースに対して複製されます。IBM は、以下のとおり直近の 28 日間のデータ・バックアップを保存します。直近の 7 日間については、毎日バックアップ、直近の 4 週間については、週ごとにバックアップを取得します。バックアップは、ディスク・ベースのバックアップ・システムに保存する際、および伝送中は暗号化されます。IBM Planning Analytics On Demand の「クラウド・サービス」では、IBM は直近の 28 日間について、以下のとおりデータ・バックアップを保存します。直近の 3 日間の日次バックアップ、直近の 2 週間の週次バックアップ、直近の 28 日間の 1 つのバックアップを取得します。

5.6 お客様が提供する資料 – ODBC ドライバー

お客様が IBM に対して、お客様または第三者の ODBC ドライバー、およびお客様が IBM にお客様の「クラウド・サービス」環境で使用するよう依頼する関連ファイル (以下総称して「お客様が提供する資料」といいます。) を提供する場合は、お客様はここに、お客様の該当する知的財産権に基づいて、お客様に「クラウド・サービス」を提供するためにのみ「お客様が提供する資料」を使用するための、支払い済み、非独占的、譲渡不能、全世界的、かつ制限付きの使用権 (再使用権を許諾する権利は含まない) を IBM に許諾します。IBM は、かかる「お客様が提供する資料」を使用するか否かについて独自に判断し、理由を問わず、独自の裁量により随時「お客様が提供する資料」の使用を中止することができます。

お客様は、(a) お客様が「お客様が提供する資料」を IBM に供与するために必要な権利を有していること、(b) IBM が、お客様に「クラウド・サービス」を提供する際に「お客様が提供する資料」を合法的に使用できること、および (c) 「お客様が提供する資料」には有害なコードが含まれていないことを継続的に表明し、保証します。お客様は、IBM に「お客様が提供する資料」の使用を認める権利を喪失したか、または「お客様が提供する資料」に有害なコードが含まれていることに気付いた場合は、速やかに IBM に通知するものとします。

5.7 IBM Planning Analytics データ・ソースへのアクセス

お客様の「IBM Cognos Analytics Dedicated クラウド・サービス」の「許可ユーザー」は、その「サービス」を使用して「IBM Planning Analytics クラウド・サービス」内のデータにアクセスすることができます。